



～ ヤマギシだより ～ クロスカントリー・マラソン大会開催

2月15日、午前10時～12時、北西から南東へ広がる春日山実顕地内を、霊峰中学生、男女約160人が、元気に走り切りました。生徒たちが冬期に取り組む持久走の総仕上げとして、従来のロードレースに代わって、クロスカントリー方式のレースにしてみたいと先生方が発案され、コースも先生方が色々検討し、決定されました。

提案を受けた村の中元さん、北大路さんは、“走るのがおもしろい”と感じられるコースを子供たちに用意したいと思ったそうです。先生方は、当日初めて走るコースなので迷わないように、事前にビデオを撮り、地図と合わせて生徒たちに見せて予習したとのこと！

村として準備したことは：毎日、各職場にFaxされる職場連絡で、この大会の開催日時を事前に通知し、コースの地図を村人口ビーに貼り出したことです。後は、それを見た村人が各自で行動したのみ：例えば、職場で大会のことを話題にして、当日の車輛の走行を調整したり、声援に駆けつけたり、ぬかるみにシートを敷いたりetc. 各々が子供たちのことを思い、手を打てる楽しさを村一体で味わっていたように私には感じられました。

家庭と学校と地域社会の和の中から、子供たちが健やかに、積極的に育ち、巣立って行ってほしいと思います。

【新村由美子】



コミュニティ壬生野 第24号

壬生野地域まちづくり協議会広報

平成19年3月15日発行

壬生野小学校社会科学習会で 住民自治について学習されました。

去る、2月9日(金)、壬生野小学校6年1組の教室で、『私たちのまちづくり』と題して社会科学習会が開催され、6年生44名が壬生野地域の住民自治のあり方について学習されました。

この学習会は、“くらしのなかの政治のはたらき”を学ぶ上で、市民の要望などがどのように反映されていくのか、これからの“まちづくり(住民自治)”のシステムはどのように展開されていくのかなど、伊賀市役所(伊賀支所)の住民自治担当職員2名から説明がありました。

そのなかで、壬生野小学校周辺に建設中の地区市民センターの整備概要や開設後の機能(サービス内容)等について児童から活発な質問がありました。

最後に、市役所職員から、これからの時代は『自分たちのまちは自分たちでつくる』という考え方が大切！私たちのまちを良くするためには、まず『どのようなまちにしたいか』、次に『私たちに何が出来るか』を考えて、自分たちだけでは出来ないことを市や県、国へ要望していく“協働”のシステムづくりが求められていることの説明がなされました。



編集後記

まちづくり協議会では、現在、平成19年度の事業計画の素案について運営委員会を中心に、各専門委員会・実行委員会で検討・協議を行っています。

まちづくり協議会は、平成17年度から伊賀市の交付金を主な財源として事業を実施してきましたが、平成19年度からは設立支援にかかる交付金が削除されることにより大幅な事業費の減額が見込まれます。これからは、特色のある事業の推進に更なる地域の皆様のご理解、ご協力が必要となってまいります。

協議会に対するご要望やご提案頂く事業等がございましたら、まちづくり委員又は事務局までご意見をお寄せ下さい。(委員長)

編集委員 居附秀樹 宮田美智子 増田裕充 塚本正子 渡部税子 中林豊 新村由美子
三根久美子 高橋大輔 梅田佳生 山本眞司

◇◇◇ご意見・お問い合わせは下記までお寄せ下さい◇◇◇

発行 壬生野地域まちづくり協議会 広報公聴実行委員会
事務局 三重県伊賀市川東1659-5 壬生野福祉ふれあいセンター内
Tel・Fax 0595(45)6270 E-mail tokimeki@ict.ne.jp URL http://www.mibuno.net



◆各委員会からの報告◆



*** 『レザークラフト』に挑戦してみました ***

壬生野まつりで大変好評を得ました『レザークラフト』のミニ講座を“ときめきサロン”で2月10日(土)に開催しました。小さい子ども達もお気に入りの図柄をトントンと革に打ち込み、赤、緑、青、黄、茶等の色をつけてステキなコースターを作りました。この日は、30名程の参加で“ときめきサロン”が賑わい、短い時間でしたが、いろんなコースターやキーホルダーの出来上がりに年齢を問わず大満足といった感じでした。



《災害への日頃からの備え》

家具転倒防止金具取付けモデル事業



旧伊賀町内50軒実施しました。～健康福祉委員会からのたより～

地震から生命を守る ===阪神淡路大震災からの教訓===

平成7年1月17日未明発生、多数の犠牲者を出しました。その主な原因は「家屋・家具の倒壊による圧迫死」と思われるもので、全体の9割を占め、家具の転倒等による死亡者・負傷者も少なくないと言われています。



この事業は、家庭において一人暮らし高齢者や重度心身障害者等のいる世帯に、家具転倒防止器具を取り付ける事業です。

- * 寝室など障害者等が常時居住する部屋の家具に取り付ける。
- * 1対象世帯あたり家具2本以内を無償で取り付ける。
- * 取り付け方法等は技術講習を終了したボランティアとする。
- * (この事業は共同募金配分金を財源として実施)
- * ボランティア名は仕事人福祉のメンバーです。

個人情報に関する事項(申し込み時に入手した情報等)は家具転倒防止事業以外の目的には利用しない

掲示板 その1



●少林寺拳法教室

少林寺拳法教室は、毎週月・土曜日に壬生野小学校の体育館で小学生対象の「少年部」と中学生以上の「一般部」に分かれて、技と精神の修養を行っています。モットーは「自分の可能性を信じてあきらめないこと」。特に少年部の子どもたちには、護身術としての少林寺拳法の技と精神を通じて、自信と勇気を身に付け、いざというときに行動できる強い心を養うよう指導に力を入れています。

1988年伊賀の地で少林寺拳法教室をはじめて以来19年、演武祭、夏合宿、福祉施設での清掃奉仕など活動内容も充実し、全国大会には、三重県の代表として毎年出場しています。今年も東京武道館での全国大会を目指し、日々練習に励んでいます。



連絡先 ホームページ <http://www.ict.ne.jp/~ki0617/> TEL 0595-45-4344 南出(代表)

●伊賀エンジェルススポーツ少年団(いがまち少年野球教室)

昨年、創設15周年を迎えました、旧伊賀町内3つの小学校(壬生野・西柘植・柘植)の1年生～6年生の児童を対象に山畑区区民グラウンドを中心にお借りして、毎週土・日曜日に活動しています。

活動目的は、野球を通じて気力・体力の充実した規則正しくたくましい子ども達の育成を目指しています。

「ハイ」という素直な心・「私がします」という積極奉仕の心・「自分だけでない」という和の心・「ありがとうございます」という感謝の心・「最後まで頑張る」というやり通す心を養う事を目的としています。

これまでの主な成績は

伊賀地区(伊賀市・名張市)代表	県大会出場	2回
伊賀学童野球同好会リーグ戦	リーグ優勝	2回

昨年から開催された、第1回伊賀市スポーツ少年団学童野球大会3位入賞です。

これからも、野球を通じて青少年健全育成を目標に活動していきたいと思っておりますのでご指導・ご協力を宜しくお願い致します。

